

タカイ アキフミ Akifumi Takai — 脚本家・演出家



BIOGRAPHY

1992年7月27日生まれ、大阪府出身。早稲田大学建築学科卒業。

2016年、大手広告代理店に勤務しながら、演劇活動を開始。

2018年、タカイアキフミによる個人ユニット「TAAC」(Takai Akifumi and Comradesの略)を立ち上げ。

2021年、演劇活動に専念。TAACでは、脚本・演出・プロデューサーを担当。

関西演劇祭 2022 ベスト演出賞受賞。

日本社会が抱える問題を背景に人々の「営み」を描き、日常に埋もれている微かな希望や愛を掘り起こすことを信条としている。

AWARDS

舞台『GOOD BOYS』 関西演劇祭 2022 ベスト演出賞

WORKS

◎舞台

2024年 ヒラタオフィス+TAAC『[not only you but also me](#)』(作・演出)

2024年 Reading Live『sunken HERO』(脚本) ※テアトルアカデミー「Summer of THEATRE 2024」内にて

2024年 TAAC『[静かにしないで](#)』(脚本・演出)

2024年 TAAC『[かわりのない](#)』(脚本・演出)

2023年 TAAC『[GOOD BOYS](#)』(脚本・演出)

2023年 TAAC『[世界が消えないように\(再演\)](#)』(脚本・演出)

2023年 TAAC『[狂人なおもて往生をとぐ](#)』(演出)

2022年 TAAC『[GOOD BOYS](#)』(脚本・演出)

2022年 TAAC『[人生が、はじまらない](#)』(脚本・演出)

2021年 TAAC『[ダム・ウェイター](#)』(演出)

2021年 TAAC『[轟轟](#)』(脚本・演出)

2021年 TAAC『[世界が消えないように](#)』(脚本・演出)

◎ショートフィルム

2021年 LAMP IN TERREN『Prologue of "New World Guidance"』(脚本)